

一誌一句(受贈誌)・2月号他より)

米田 透 抄出

プレゼント膝に聖夜の四姉妹

(鳩の子)

柴田多鶴子

初雪の積らんとする気概かな

(槐)

高橋 将夫

麓にはジュラ紀の湯湧く紅葉山

(花苑)

次井 義泰

着水の沼の音響鴨の陣

(鳴)

加藤 峰子

戦後派の喜寿や戦さの止まぬ冬

(青岬)

衣川 次郎

蜜柑盗る酒呑童子の手を伸ばし

(湾)

和田 洋文

断崖を洗ふほかなき冬怒涛

(香雨)

片山由美子

雪起し君の匂ひの残る部屋

(信濃俳句通信)

佐藤 文子

蕉翁の古里伊賀の茸汁

(天塚)

宮谷 昌代

棒立ちに仰ぐや冬の滝しぶき

(風港)

中川 雅雪